

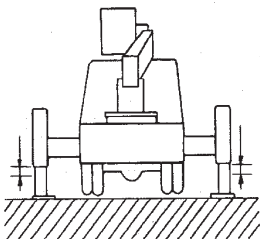
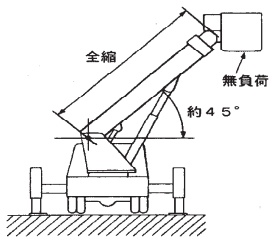
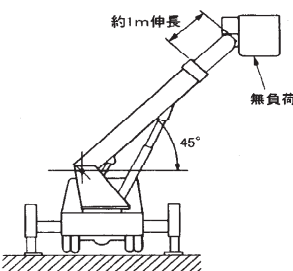
アイチコーポレーション

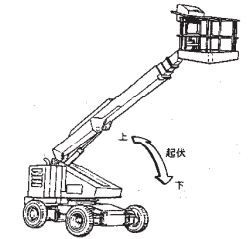
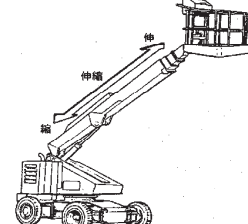
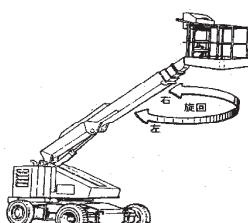
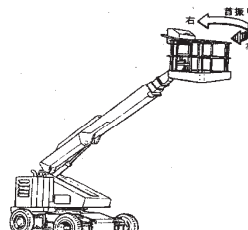
適用範囲		モデル名		SE08C	SH10A	SH11A	SH15B		
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	—	0.5～0.9	0.5～0.9	1mm 以下	
			左右	mm	0.5以下	0.5～0.9	0.5～0.9	1～1.2	
		2nd 先端ローラ部のがた	左右	mm	—	—	—	0.1～1.2	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	バケット	積載		kg	120	200	200	200	
	油圧ポンプ	吐出圧		MPa	17.2	17.2	17.2	17.6	
				(kg/cm ²)	(175)	(175)	(175)	(180)	
		※ポンプ回転数 作動油 油温		min ⁻¹	700+50.-0	800+50.-0	800+50.-0	900+50.-0	
				—	VG22	VG22	VG22	VG15	
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			伸縮	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			ジャッキ	mm	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	
			アーム起伏	mm	2/10min 以下	—	—	—	
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	2/10min 以下	
	安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—	—	1以下
		作業範囲 規制装置	規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	—
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	○	
インターロック		ジャッキインターロック		—	○	○	○	○	
		ブームインターロック		—	○	○	○	○	
		駐車ブレーキインターロック		—	○	—	—	—	
総合テスト	作動速度	起伏 ※2-1	上	s	27±3	24+4.-2	24+4.-2	35±5	
			下	s	27±3	21+4.-3	21+4.-3	30±5	
		旋回 ※2-2	右	s	55±5	50+8.-3	50+8.-3	50±10	
			左	s	55±5	50+8.-3	50+8.-3	50±10	
		伸縮 ※2-3	伸	s	14±2	18+4.-2	18+4.-2	33±5	
			縮	s	14±2	18+4.-2	18+4.-2	25±5	
		アーム	上	s	18±3	—	—	—	
			下	s	18±3	—	—	—	
		バケット 首振 ※2-4	右	s	25±3	18±5	18±5	10±5	
			左	s	25±3	18±5	18±5	10±5	
		バケット 昇降速度	上	s	—	—	—	6+3.-2	
			下	s	—	—	—	6+3.-2	
		ウインチ 起伏速度	起	s	—	—	—	6+3.-2	
			伏	s	—	—	—	6+3.-2	
		ウインチ 旋回速度	右	s	—	—	—	7+3.-4	
			左	s	—	—	—	7+3.-4	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

[illegible]

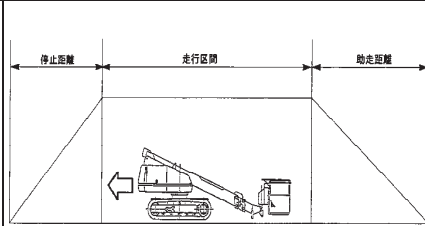
※ 1. シリンダー自然降下量 1. ジャッキシリンダー 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) エンジン停止させる 3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く 4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 5) 1分後、0点を合わせる 6) 10分経過させる 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 〔判定基準〕 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内/10 分	
2. 起伏シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) エンジン停止させる 3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内/10 分	
3. 伸縮シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) ブーム長さを 1m にセットする 3) エンジン停止させる 4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内/10 分	

※ 2. 速度測定方法 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する 3) 油温は 40±10℃で行なう 1. ブーム起伏速度 1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左)	
2. ブーム伸縮速度 1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 2) 伸縮操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3. ブーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4. 首振り速度 1) 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する 2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5. プラットフォーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

※3. 走行速度測定方法

〔測定要領〕

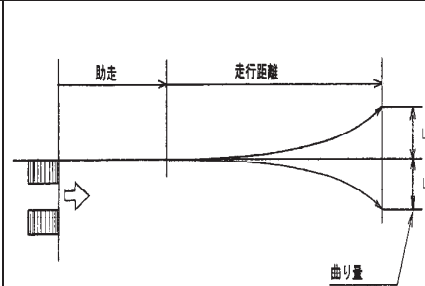
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※4. 走行直進性測定方法

〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
- 4) 最高速度で約10m走行させ曲った距離を測定する

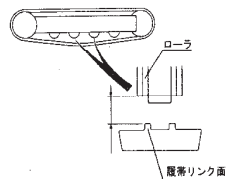


※5. 履帯たわみ測定方法

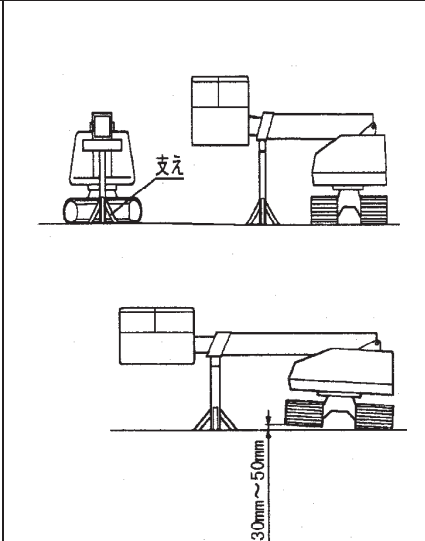
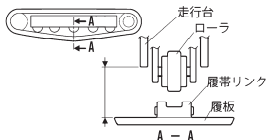
〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 第1ブーム先端部に支柱セットする
- 3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm~50mm浮かせたわみ量の測定をする

1. SR10A, SR12B
SR18/21A スペック (AQ*, AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

〔検査機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

〔測定例 L-MAX〕

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。
詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

